

募集要項

2022.8.31 日現在

第33回 丹沢音楽祭 「第九」

合唱団員募集

大ホールの舞台上で
歓びの輪に加わりませんか！

開催日：令和5年2月26日（日）

指揮：三ツ橋敬子

演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

第33回丹沢音楽祭実行委員会事務局

〒257-0015 神奈川県秦野市平沢82番地

クアーズテック秦野カルチャーホール内

TEL：0463-81-1211 FAX：0463-81-9080

E-mail：bunka@hadano-partners.jp

コロナ禍で延期となっていた丹沢音楽祭が3年ぶりに開催されることになりました。

音楽祭の開催日は来年2023年2月26日(日)。会場はクアーズテック秦野カルチャーホール大ホールです。全席自由席一般3500円、学生2000円、未就学児は入場不可。チケット発売は2023年1月の予定。

丹沢音楽祭は、音楽や地域の友好の輪を広げることを目的に、地域住民参加型の音楽祭として1984年から開催されている、歴史ある音楽祭です。

第33回のメイン曲は「第九」。

指揮者には、2009年Newsweek Japan誌で「世界が尊敬する日本人100人」に選出され、2013年には第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞した三ツ橋敬子氏を、演奏には、三ツ橋氏との共演実績もあり『題名のない音楽会』にも多数出演の東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を迎えます。

皆さんもこの公演の一員として、ともに歓喜の歌を響かせてみませんか。舞台に立つ合唱団を募集します。

【合唱団員募集要項】

- 1 資格 練習計画(次頁)に概ね参加できる方。
- 2 募集人員 200名(ソプラノ70名、アルト70名、テノール30名、バス30名)
- 3 曲目 交響曲第9番(ベートーヴェン作曲)
丹沢讃歌 (森一步作詞/加藤正二作曲)
- 4 参加費 一般18,000円、学生6,000円(中・高・大)
後日、参加費とは別に大人の参加者はチケット3枚、学生はチケット2枚を別途購入していただきます。
入場料チケット代(全席自由) 一般3,500円、学生2,000円
※楽譜(第九、丹沢讃歌)を持参してください。必要な方は別途購入していただきます。
- 5 申込み ●参加申込書に御記入の上、秦野市文化会館に御持参ください。
HP上に掲載している、応募フォームからもお応募頂けます。
<https://www.townnews.co.jp/pr/hadanoculture/2022/08/633167>
先着順、定員になり次第、締め切ります。
参加費は、第1回練習時に集めます。
以後、出演キャンセルによる返金はいたしません。
●新型コロナウイルス感染症等の影響により合唱練習や公演を中止する場合があります。この場合、練習が開催されなかった回数分の参加費を返金します(1回あたり一般1,500円、学生500円)。欠席の場合の返金は一切ありません。
●チケット購入後に公演中止の場合は、チケット代金を返金します。
- 6 募集期間 令和4年8月17日から9月25日まで(受付9時~17時)
※毎週火曜日と9月21日は休館日のため受付できません。
※参加費は、お釣りのないように持参してください。

【公演計画】

- 1 公演日 令和5年2月26日(日) 午後2時開演予定
- 2 会場 クアーズテック秦野カルチャーホール 大ホール
- 3 入場料 全席自由席 一般3,500円 学生2,000円
※未就学児の入場不可【発売日 令和5年1月頃】
- 4 出演者 指揮 三ツ橋敬子
演奏 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、その他未定
- 5 合唱指導 藤丸崇浩 ピアノ：渡邊純子
- 6 主催 第33回丹沢音楽祭実行委員会
- 7 協力 秦野市合唱連盟 秦野市音楽協会

【合唱練習計画】(全12回)都合により練習日程が変更になる場合があります。

| | 練習日 | 時間 | 備考 |
|----|----------------|-------------|---------|
| 1 | 2022年10月2日(日) | 9:30~12:30 | 発会式、練習 |
| 2 | 2022年10月15日(土) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 3 | 2022年11月6日(日) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 4 | 2022年11月26日(土) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 5 | 2022年12月10日(土) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 6 | 2022年12月24日(土) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 7 | 2023年1月22日(日) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 8 | 2023年1月28日(土) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 9 | 2023年2月11日(土) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 10 | 2023年2月19日(日) | 9:30~12:30 | 練習 |
| 11 | 2023年2月25日(土) | 12:00~16:30 | リハーサル予定 |
| 12 | 2023年2月26日(日) | 14:00~16:00 | 本番予定 |

練習会場の記載がない場合は、クアーズテック秦野カルチャーホール(文化会館)大ホールです。状況により、日程は変更する場合もあり得ます。御了承ください。
※各日、練習開始の30分前から受付を行います。発会式後に連絡事項がある場合は、今後発行する「丹沢だより」でお知らせします。

【出演者・指導者プロフィール】

■指揮：三ツ橋敬子 Keiko Mitsuhashi

小澤征爾、小林研一郎、ジェルメッティ、アッツェル、シュナイト、湯浅勇治、松尾葉子、高階正光の各氏に師事。東京藝術大学及び同大学院を修了、キジアーナ音楽院より特別奨学金を得て学び、最優秀学生に贈られる名誉ディプロマを授与。2005年よりウィーン国立音楽大学に留学し、翌年トスカーナ管弦楽団とのツアーを指揮してヨーロッパデビュー。2007年ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団にてオペラデビューを果たした。2008年第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて優勝。併せて聴衆賞、ペドロッチ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の3冠に輝いた。2010年第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。これまでに札幌交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢などに客演。その他スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などヨーロッパでの定期演奏会への客演も重ねている。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2013年第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2016年から5年間、神奈川県立音楽堂にて「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ！」を実施し、子供たちに多彩な音楽体験を届ける企画内容が好評を得ている。2021年4月、コロナ禍においてNHK交響楽団デビューを飾りその堅実な解釈力と手腕に対し各方面より称賛を得た。

■管弦楽：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

1975年、自主運営のオーケストラとして設立。現在、常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者に飯守泰次郎を擁する。

年間100回を超える公演は、定期演奏会および特別演奏会の他、オペラ、バレエ公演やポップスコンサート、映画音楽、テレビ出演、CD録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。特にテレビにおいては、テレビ朝日『題名のない音楽会』でその新鮮な魅力溢れる演奏を披露し、日本全国で好評を博している。

また地域コミュニティでの活動も積極的に展開。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点としてティアラこうとう定期演奏会やファミリーコンサート、公開リハーサル、楽器の公開レッスン、音楽鑑賞教室、区内小学校へのアウトリーチ活動など、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。

2021年5月には桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の傘寿記念として「ニーベルングの指環」ハイライト特別演奏会（演奏会形式）を開催。コロナ禍での開催ながら、海外から世界最高峰のワグナー歌手陣を招き大成功を収めた。

これからの活躍が最も期待されているオーケストラである。